

未来プロジェクト

学年通信 8月号
東広島市立中黒瀬小学校
第6学年
令和7年8月29日

前期後半が始まりました

前期後半がスタートし、教室に子供たちの笑顔と元気な声が戻ってきました。小学校生活最後の夏休みの間に様々なことにチャレンジし、思い出いっぱいの夏休みになったことと思います。夏休みの貴重な経験を、これからの学校生活に活かしてほしいと思います。

前期後半は、前期の学習のまとめをする大切な時期です。日々の積み重ねを大事にして、一步一步成長して欲しいと思います。前期後半も引き続き、よろしくお願いします。

～平和学習バスに参加しました～

くくんが7月25日に中黒瀬小学校の代表として、平和学習バスに参加をしました。語り部の方の話を聞いたり平和記念公園や原爆の子の像を見学したりし、戦争の恐ろしさや平和の大切さを改めて感じたそうです。くくんの感想文を紹介します。

「私は五歳で生き地獄を見た。」
これは、僕が平和学習バスに参加して、語り部の廣中正樹さんから聞いた一番印象に残っている言葉です。廣中さんは、五歳の時、被爆しました。幼いころの記憶が今でもあるということは、それほど恐ろしい体験だったのだと感じました。そのあと、このように続けられました。
「ピカッと光り、一瞬にして目の前がオレンジ色に染まり、ドンという音が聞こえた数秒後、ものすごいスピードで茶色の爆風が音を立てて、襲ってきた。」
これが、原爆の恐ろしさです。この一瞬で、大切な人、希望、未来など、すべてが失われました。この体験は、悲しいだけでは終わらせてはいけないと思いました。今回の平和学習バスで、ぼくは初めて慰霊碑を参拝しました。その中で、子供もたくさん亡くなっていることを知りました。何も悪くない子供も巻き込む。改めて原爆の恐ろしさを感じました。広島平和記念公園には平和祈念慰霊碑以外にも、たくさんの石碑が存在します。これらの石碑には、すべての人々が原爆犠牲者の冥福を祈り、戦争という過ちを繰り返さないという思いが、込められています。ぜひ中黒瀬小学校のみなさんにも、石碑に参拝して、何かを感じてほしいです。
また、広島平和記念資料館にも行きました。そこで、大やけどをして皮膚が赤くなった人たちの写真と絵や被爆した物などを見ました。原爆は怖いという思いが一層強まりました。
今年被爆八十年。原爆の恐ろしさ、命の尊さ、平和の尊さを僕たちが受け継いでいかなければなりません。最後に廣中さんはこう言いました。
「人の命は地球より重い。」
この言葉を胸に、一人一人が過去を学び、これから僕たちが未来を変えていく時代にします。

～9月分集金額のお知らせ～

PTA会費	1,000円
卒業アルバム積み立て	1,000円
家庭科トートバック	850円
漢字ドリル下	540円
社会科テスト（後期）	570円
学年費	50円
手数料	10円
合計	4,020円

※引き落とし日は 9月10日（水）です。

～修学旅行費返金についてのお知らせ～

今回の修学旅行に関わって、名鉄観光より返金がありました。一人あたり322円です。

その返金額を学年費として使わせていただきます。よろしくお願いします。

修学旅行集金額	33,000円
実際にかかった費用	32,678円
返金額	322円